

パイナップルの除えい芽が果実収量・品質に及ぼす影響

目取眞要・比嘉正和・竹内誠人
(沖縄県農業試験場名護支場)

Kaname MEDORUMA, Masakazu HIGA and Makoto TAKEUCHI:
Effect of removing slips treatment on pineapple fruit weight and quality

これまでパイナップルの栽培は加工用が中心であったが、近年生食用果実としての需要が高まっている。沖縄県では生食用品種として‘ソフトタッチ’と‘ハニーブライト’の栽培が増加しているが両品種とも果実品質はよいものの、現行栽培種である‘N67-10’と比較すると果実重量が小さく、収量の面で若干劣っている。そこで‘ソフトタッチ’、‘ハニーブライト’が多えい芽系統であることに着目し、除えい芽する事がパイナップル果実の収量と品質に与える影響を検討する。

1. 材料および方法

供試品種は‘ソフトタッチ’、‘ハニーブライト’、および‘N67-10’の自然夏実を用いた。除えい芽の時期は各品種とも開花の終了した時期に行った。試験1(1998)では完全除えい芽区、除えい芽+芯抜き区、無処理区の合計3区を設定し、試験2(1999)ではえい芽3本残し区、完全除えい芽区、無処理区の3区を設定した。‘N67-10’はえい芽の発生が少ないので完全除えい芽区と無処理区の2区を設定した。果実品質は果実の1/4切片を搾汁し、Brixは屈折計示度、酸度は0.1N NaOH 滴定によるクエン酸換算値で示した。

2. 結果および考察

試験1では‘ハニーブライト’で除えい芽の影響が強く現れ、芯抜きを行った区では約40%果実重が増大したが酸度が高くなる傾向を示した。‘ソフトタッチ’では効果が低いものの除えい芽によって果実重が増大し、品質に差は認められなかった(第1表)。しかしながら芯抜きは行う時期によって病果を引き起こすことや、完全除えい芽による種苗不足が懸念されることからえい芽を若干残すために試験2を行った。

試験2では‘ソフトタッチ’、‘ハニーブライト’でえい芽3本残し区の果実重が増大し、特に‘ハニーブライト’においては除えい芽の効果が著しく現れ、品質についての差は認められなかった(第2表)。また、‘ソフトタッチ’、‘ハニーブライト’では無処理区と比較してえい芽3本残し区でえい芽重が増大し、吸芽の発生に差は認められなかった(第3表)。また、‘ソフトタッチ’、‘ハニーブライト’では除えい芽をすることによって茎重に対する果実重の増大が認められた(第1, 2図)。

以上の結果から、除えい芽する事によって1果実重を増大させることができ、‘ソフトタッチ’、‘ハニーブライト’の両品種では3本残し区で最大値を示した。特に‘ハニーブライト’においては除えい芽の影響が強く現れ、有意な差が認められた。また、えい芽を3本残すことによって、えい芽自体の重量も増大し、次回植え付け時に利用することができる。

第1表 除えい芽と芯抜き果実収量・品質に及ぼす影響 (1998)

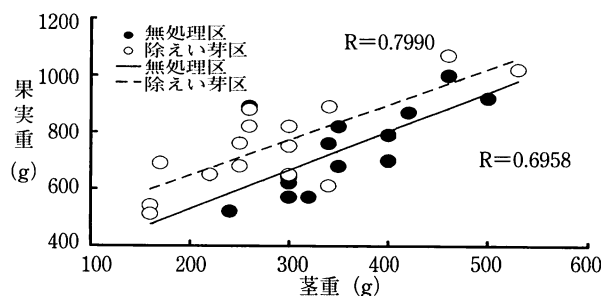
品 種	処 理 区	果実重 (g)	小果重 (g)	果径 (cm)	酸度 (%)	Brix (%)
ソフトタッチ	除えい芽区	839	8.9	10.7	0.53	17.3
	除えい芽+芯抜き区	824	8.4	10.7	0.54	17.6
	無処理区	816	8.7	10.6	0.48	18.6
ハニーブライト	除えい芽区	1006	9.8	10.5	0.57	16.5
	除えい芽+芯抜き区	1128	10.3	10.9	0.65	15.6
	無処理区	798	8.7	9.8	0.62	16.5
N67-10	除えい芽区	1359	14.5	12.1	0.54	13.7
	除えい芽+芯抜き区	1414	14.8	12.3	0.53	13.5
	無処理区	1267	14.6	11.9	0.52	13.0

第2表 えい芽の3本残しが果実の収量、品質に及ぼす影響 (1999)

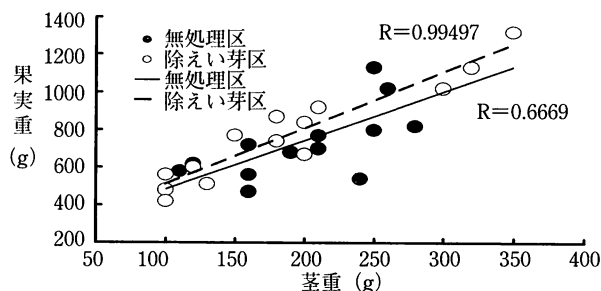
品 種	処 理 区	果実重 (g)	同左標準比	小果重 (g)	果径 (cm)	酸度 (%)	Brix (%)
ソフトタッチ	3本残し区	994	108	9.6	11.2	0.85	16.4
	完全除えい芽区	932	102	9.5	10.9	0.83	17.0
	無処理区	917	100	9.2	11.0	0.83	17.1
ハニーブライト	3本残し区	1322	118	11.5	11.0	0.72	15.4
	完全除えい芽区	1255	112	11.4	10.8	0.70	16.1
	無処理区	1116	100	10.0	10.4	0.77	16.0
N67-10	完全除えい芽区	1503	105	16.5	12.1	0.70	13.7
	無処理区	1438	100	14.5	12.0	0.69	13.2

第3表 除えい芽がえい芽および吸芽の発生に及ぼす影響 (1999)

品 種	処 理 区	えい芽数 (本)	えい芽重 (g)	吸芽数 (本)
ソフトタッチ	3本残し区	2.6	351.5	1.1
	完全除えい芽区	—	—	1.1
	無処理区	5.1	236.3	1.0
ハニーブライト	3本残し区	2.9	385.0	1.2
	完全除えい芽区	—	—	1.5
	無処理区	8.3	135.0	1.1
N67-10	完全除えい芽区	—	—	1.3
	無処理区	2.6	507.5	0.7



第1図 ソフトタッチの果実重と茎重の関係



第2図 ハニーブライトの果実重と茎重の関係